

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 4 区分
【発行日】平成30年4月12日 (2018.4.12)

【公開番号】特開2016-146721(P2016-146721A)
【公開日】平成28年8月12日 (2016.8.12)
【年通号数】公開・登録公報2016-048
【出願番号】特願2015-23365(P2015-23365)
【国際特許分類】

H 0 2 K 21/38 (2006.01)

【 F I 】

H 0 2 K 21/38 G

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月5日 (2018.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

円周方向に沿って N 極と S 極とが交互に着磁された界磁子と、
前記界磁子の内側に配置された電機子巻線と、
前記電機子巻線を取り囲むと共に、その半径方向の外側端部に形成された磁極片が前記界磁子に接近する電機子鉄心と、を備え、

前記界磁子および前記電機子巻線の位置は固定され、前記電機子鉄心が前記界磁子および前記電機子巻線に対して相対的な回転運動を行うことを特徴とする回転機。

【請求項 2】

前記電機子鉄心は、軸方向に於いて前記電機子巻線の側方に配置された側面継鉄を有し、

前記側面継鉄は、中心軸が接続する継鉄中心部と、前記継鉄中心部の外周縁を半径方向外側に突出させた磁極片と、を有し、

前記磁極片の半径方向外側の端面が、前記界磁子に接近することを特徴とする請求項 1 に記載の回転機。

【請求項 3】

前記電機子巻線は、第 1 電機子巻線と、前記第 1 電機子巻線とは巻数が異なる第 2 電機子巻線と、を有し、

前記第 1 電機子巻線と接続された第 1 引出線と、前記第 2 電機子巻線と接続された第 2 引出線とは、個別に前記界磁子の近傍から外部に引き出されることを特徴とする請求項 1 から請求項 2 の何れかに記載の回転機。